



相談室だより

2026 年7月

「知ること」そして「考えること」

俳優のジョニー・デップさんが、2025 年 12 月 2 日、東京都内のホテルで胎児性水俣病患者の坂本のぶさんと面会し、今後の継続的な支援と交流を約束したというニュースがありました。

私は「水俣病」と聞くと、小学校で学んだ四大公害病の一つとして、熊本県の工場から流された化学物質によって多くの人々が苦しんだ出来事を思い出します。海外の俳優がこの問題に関心を持ち、映画として伝えようとしていることに驚くと同時に、日本人である自分があまりにも知らないことを恥ずかしく思い、映画を視聴し、その問題について少し調べました。

水俣病は公式に認定された患者が約 2,300 人である一方、認定されなかった人は約 1 万 8,000 人にも上ること、そして発生から 70 年以上が経った今でも解決しきれていない問題です。

また、別の機会にインドネシアの水銀中毒について学びました。そこでは、鉱山での採掘や金の精製の過程でメチル水銀が使用され、日本と同様に健康被害が出ています。日本が経験した公害の教訓が十分に活かされず、同じような問題が現在も世界のどこかで起きているのです。

私たちは日々、当たり前のように生活しています。しかしその裏側で、今この瞬間も苦しんでいる人がいることを忘れてはいけません。豊かな社会は、そうした人々の犠牲の上に成り立っている面もあるのです。

マザー・テレサの言葉に「愛の反対は憎しみではなく、無関心である」というものがあります。

私たちの周りにも、人知れずつらい思いをしている人がいるかもしれません。問題を知らないままであること、気づこうとしないことは、「無関心」につながります。まずは「知ること」、そして「考えること」から始めてみませんか。そして、自分にできる小さな行動を見つけていきましょう。誰かの苦しみに気づき、寄り添うことができる人になれるよう、一緒に考えていきましょう。

2 年学年主任 宮崎 雄一

教育相談室では、学校生活での悩み、家庭での悩み、生活行動上の悩み、生活の中での不安など、解決の手助けができたと思っています。誰かに話を聞いてもらえるだけで、心が軽くなります。どんなささいなことでも気軽に相談に来て下さい。

スクールカウンセラーの来校日 原則火曜日（13:00 から 17:00）

相談室は、本館 1 階進路指導室の隣です。